

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	浦添市児童発達支援センターたんぼぼ		
○保護者評価実施期間	2025年9月8日		～ 2026年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	103名	(回答者数) 100名
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園であるため、保護者の困り感に寄り添いながら家族支援を含めたサポートができること	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から保護者とコミュニケーションを取り、些細な困りごとにもキャッチしながら必要な支援につなげていく。運営主体が社協であることやこれまでの行政、関係機関とのつながりを活かして家族支援を行っている。 ・ペアトレも実施し、家族支援にこれまで以上に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でしっかり情報共有を図り、支援の方向性に違いが出ないように、スピーディーに対応、つなぎができるようにしていく。 ・保護者の相談しやすい体制を整えていく。
2	様々な玩具や道具、教材があり、たくさんの遊びを提供できること	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任が週報に沿ってプログラムを考えるが、様々な遊びが経験できるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に登園回数の少ない親子については遊びが偏らないように気をつける。遊びを繰り返す場合はその目的もしっかり説明していく。 ・担任以外の職員もその日の活動の目的を把握し保護者に伝えられるようにしていく。
3	保護者同士のつながりを作ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園で一緒に活動する中で保護者同士が関係性を築くことができる。コミュニケーションが苦手な保護者もいるが、職員が間に入りながら少しずつ交流できるようにサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス毎での活動が多いため他のクラスの保護者との関わりが少なくなってしまうので、クラスを超えた交流ができるように仲介していく。 ・親の会と連携しながらゆんたく会などの交流の場を企画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	登録人数や1日の定員が多いため、必要な支援が行き届いていない場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の不足や育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修や職員間での普段からのコミュニケーションの充実をこれまで以上に図っていく。
2			
3			